

第20回東広島市生涯学習フェスティバル（2010）に参加 —金田代表幹事が「健康ウォーキング」—

11月6日（土）と11月7日（日）に催されたフェスティバルに、広島大学マスターズも参加しました。これで4回目になります。しかし残念なことに、広島大学の「キャンパス・フェスティバル」と重なったせいか、来場者の数が少なかったと感じました。

わがブースでは基本的に昨年のコンセプトを踏襲しましたが、「ポスターコーナー」では文字数を減らし、市民講座や出前講座などの写真を増やしました。「液晶プロジェクターコーナー」には、新たに、NHKやKAMONテレビで放映された、市民講座「家族で挑戦！野っ原探検講座」（動画）を加えました。そして「会員の作品コーナー」は廃止し、代わって渡部和彦会員が指導する「健康ウォーキング」を行いました。これは来場者に参加してもらうイベントで、これまでのように活動結果だけを展示する方式とは異なるものです。まず午前中に「健康ウォーキング」を解説するスライドや動画を別のプロジェクターで流し、来場者に予約を勧誘しました。

「健康ウォーキング」の指導は、ブースでではなく、2階の観覧席を取り巻く通路で午後1時より1時間行いました。ただ残念なことに希望者の集まりが悪かったので、金田代表幹事を初めとして手すきの幹事も参加しました。それが下の写真です。

渡部会員には外国出張を控えての無理なお願いをしたのですが、「人集め」が反省点として残りました。ビラの作成や配布を行うこと、あるいはアナウンスが可能だったにもかかわらず、手配が遅れたことなどが反省点です。

ビラと言えば、フェスティバル以後に開催される市民講座を宣伝するビラ、出前講座にどんなものがあるか、そしてどのように申し込んだらいいかを示すビラ、なども必要でしょう。ちなみに、今回の「健康ウォーキング」は出前講座そのものでした。渡部会員によれば、出前講座の申し込みも別に受けているとのことです。

ここで、来年以降、生涯学習フェスティバルと出前講座の結びつきを強める企画が示唆されました。たとえば、場所が得られれば絵の描き方の指導、そして「ロビーコンサート」でのジャズ演奏などが考えられます。もしそれができれば、われわれの出展が生き生きとすることは間違いないでしょう。（太田安英記）



